

はえばる議会だより

3月 6月 9月 12月

令和7年6月定例会

No. 230

令和7年8月12日発行

はえばる議会だより

No. 230

沖縄県南風原町議会ホームページ
https://www.town.haebaru.lg.jp/life/5/24

発行 沖縄県南風原町議会
編集 議会広報常任委員会

〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城886番地
TEL (098) 889-3097 FAX (098) 889-4499
印刷/有限会社 トウエー印刷

議会報告会

初の議場開催

多彩な意見が集結

P2

視覚障がい者と南風原町の防災体験

6月定例会	P6
体育協会関連予算の計上	P7
15人が一般質問	P8

題字：南風原中学3年 武村 盛汰さん

沖縄県南風原町議会HP



自動車道桁下の更なる活用を

恒花 弘光 78歳

宮平区に居を構えて40数年、今では知人友人も増え何かと忙しく振舞っている今日この頃です。町内ではボランティア活動もさせてもらい、小中学校での朝の挨拶で子ども達の笑顔に接し、いつも幸せ感をもらっています。そのような折に議会だよりから寄稿依頼があり、ありがたく引き受け

させてもらいました。前町長が前例のなかった自動車道の桁下活用を実現させ、まだ一般的でなかったスケボー場を始め青少年活動の場、そして住民の憩いの場を設け、休日祝日などに広く活用されていることは大変喜ばしいことです。散策中に思うのは、まだ利用されていない空き地があ



事故で利き手を失い、左手で描いた達磨大師。一つずつ表情が違う。



南風原小学校正門で朝のあいさつ

るので、これをもっと活用できないものかということ。自治体での桁下活用例はまだ少ないと聞きますが、町長そして議会の皆様がこの活用を更に進めて頂いては如何でしょうか。福祉・高齢者・教育関係等も大事なことです。が、町民が憩えて、青少年が活用できる場をもっと増やして欲しいです。

左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。

はえばる議会だよりのバックナンバー

次回定例会の開会予定
9月10日(水)午前10:00

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・ご要望なども広く募集しています。議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先：議会事務局 TEL.889-3097 FAX. 889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集室より

「障害の社会モデル」という言葉を知っていますか。障害が個人の特性や心身機能の制約にあるのではなく、社会や環境によって困りごととして現れるという、障害学の考え方です。例えば、階段は車椅子の移動の妨げになります。世の中の建築家が全て車椅子利用者だったら、階段が一つもない町ができるかもしれません。他にも盲学校では、眼が見えない方は記憶を頼りにモノの場所を判断するため、全て同じ場所に片付けることが基本でした。見える人が何気なくものを移動することで、普段と違うバリアをつくってしまうのだと気付かされました。本号は「社会的に弱い立場にある人」をテーマにしていますが、どのような立場にあっても地域で共に暮らせる豊かな南風原を皆さんと一緒につくっていきたいと思います。(担当/玉城陽平)

初の議場開催
多彩な意見が集結報告会の様子は
こちらから

平成24年から開催している議会報告会も今年で14回目となりました。今年初の試みとして、より議会を身近に感じてもらうため、議場で開催しました。またテーマを設定し、各種団体へ参加を呼びかけました。約50人の方々が参加され、質疑応答や意見交換会においても多くの意見が交わされるなど、有意義な報告会となりました。

当日の質疑や意見等をご紹介します。

参加者



参加者 町民体育館計画を廃案にする考えはないか。高齢化も進んでいる。必要なのかという疑問がある。50数億円もかけるのであれば、もっと子どもに、町民に使ってほしいと考える。

議会 行政は事業開始の同意を地権者からもらっている。令和7年度当初予算にアドバイザリー業務委託契約を予算計上していないのは、土地の契約金額が折り合わず購入できていない。今後の見通しについては議会として注視していく。

商品券

参加者 配布予定の商品券は何故2千円なのか。どう配布するのか。金額の根拠は何か。

議会 国の物価高騰対策予算で配布するもの。商品券配布はこれまで何度か実施してきた。イオンやサンエーなどでハガキを商品券に引き換える。



参加者 こども誰でも通園制度はいいが、学童クラブではおやつがあまりに少ない。町から学童への補助金はないのか。

議会 学童に対する補助金については、様々な補助のメニューを学童に支払っているが、色々な求めは町民の皆さまから寄せられている。行政も補助金について随時検討していると確認している。

参加者 商品券に関連するが、物価や税金が高く、給料が少ない。税金の軽減はできないか。賃金を上げていただきたい。

議会 国からの予算で物価高騰対策の商品券も2千円と上限を決めている。給食費の軽減にも充てられている。全町民にいく形になっていると理解している。ご意見は議員個々が活動の中で提案できたらと考える。

議長

議員



議会 この制度は、保護者の就労などの要件に縛られず、月10時間ではあるが、これまで利用できなかった人達が短時間でも利用できるようにするもので議会としても承認している。那覇市や浦添市でも実施しており、施設や保育士達の理解協力も得ながら活用して欲しい。先進地をみて、現場の声も聞きながら反映させていく。

参加者 誰でも通園制度が始まるが、人手が少ない中で通園慣れないこども達が来て、保育現場がどうなるか不安がある。通園制度ではなく、どの子も保育園に入るようにした方が良かった。通園制度をどのようなものとして議会が捉えて、可決されたのか教えてほしい。

同じ境遇の方々と交流の場を

子どもに障害があります。今は、学校や放課後デイ等にお世話になっています。

休日に公園で気兼ねなく遊べるような、施設の充実や周囲の理解はまだ少ないように感じます。

同じ境遇の方々と心配事の話ができる場や、集まりやすい環境が南風原にあればいいと感じます。

町民
インタビューTさん
(女性)



意見交換会

議会報告会終了後は、2つの会議室に分かれて、それぞれのテーマ「防災、福祉サービス」「公共施設、給食」に沿った意見交換会を行い、様々な意見が交わされました。

防災は普段からの備えが大事。だが全然進まない。ワークショップや防災イベントなどもやるべき。

イオン南風原から医師会向けの工事中道路、見えずらいためカーブミラー設置できないか。



防災マップの活用の仕方を教えて欲しい。

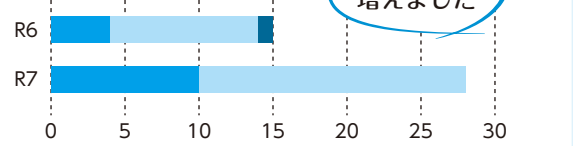
平時から役場や地域との連絡網が薄い。もっとやるべきではないか。

居場所がない。話し合える場所が欲しい。それぞれが生きがいを持てる社会であってほしい。

避難所の設備や備蓄の状況は。トイレや水、食料は。兼城は到底公民館には入りきらない。

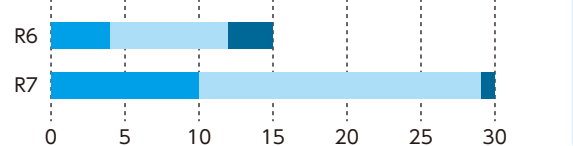
アンケートでの意見
・議員として議会でのような取り組みをしたかを説明してはどうでしょうか？
・意見交換会は時間が短いと感じた。
・今回のやり方がとても良かった。報告会の在り方について、より良いものを作ろうと努力していると感じた。
・南風原町民で良かった！と思います。

議会報告会の内容



高評価が増えました

意見交換会の内容



皆さまからアンケートを頂きました。ご協力ありがとうございました。



福祉職 K さん
(女性)

福祉職 T さん
(女性)

マンパワーにも使える支援を

支援を必要とする人に対する国や行政の制度があっても、あてはまらない町民はたくさんいます。ぜひ行政や議会も、制度からこぼれ落ちる人たちにも寄り添ってほしい。mobi も良いとは思いますが、もっと送迎や外出支援が必要です。

福祉の現場では歯がゆい事ばかり、最後はやはり「マンパワー」が重要です。

寄り添う「人」をいかに増やし、誰もが使える「しくみ」を一緒に考えてほしいです。

もっと mobi を便利に利用したい

足に障害があり、歩行器を使用し生活しています。私も家族も運転免許がなく、タクシーで通勤、通院をしています。

町外に勤務場所や病院がある為、mobi を使えたらいいと考えますが、町内勤務の異動も考えましたが、身体的理由により断念しました。

他にも私と同じような方々がいると思います。そこで、mobi の利用を近隣の市町村まで延伸したり、町外を出た分は追加料金を払って使えるなど、工夫して頂きたいです。

S さん
(女性)

町民の皆さまから頂いたご意見を取りまとめ、町長へ要望書として提出しました。

要望 保育や学童、子育て支援を今後も充実させてほしい。

回答 保護者や現場の意見等を聞き、充実させたい。

要望 防災対策と地域との連携を深めて欲しい。

回答 地域との情報共有体制の強化、高齢者や障がい者など災害時要配慮者支援体制の構築等に努める。

要望 社会的弱者や地域コミュニティ、市民団体などを支える仕組みを充実させてほしい。

回答 団体間の連携強化や若い世代の参画促進、情報共有体制の充実など、地域の声を反映しながら、協働によるまちづくりを進めたい。

要望 給食の地産地消を進めて欲しい。

回答 学校給食で提供するには数量の確保が課題となる。引き続きJAと連携し地産地消の推進に取り組む。

要望 防犯灯など道路の安全対策の予算の拡充を図って欲しい。

回答 防犯灯の費用は当初予算で確保し対応している。予算が不足する場合には、補正予算等で適切に対応する。

要望 子ども若者の居場所の充実を図って欲しい。

回答 令和7年度から新たに中高生や20代前後の若者を対象とする居場所を設置し、学習や就労等の支援を行っている。また、子どもの居場所の充実のため施設の活用を促進し、子ども会・PTA・青年会等の活動と連携を促進する。

全文はこちらから



皆さまから頂いた意見をまとめて、意見書として町長に提出し回答を頂きました



SNS などを利用した情報発信に期待



視覚障害者
屋良 景斗さん
(30代 与那覇在住)

私自身も視覚障害があり、障がい者手帳を持っています。生活補助具や等級のことなど、事前に知っていればもっと色々できたかと思います。

今回、ブラインドサッカーのイベントを主催しましたが、町内学校連絡網アプリの「スクリレ」で広報してもらいました。南風原町でもmobi 始め便利なサービスも増えています。今後は SNS を始め「町民への発信」に力を入れてほしい。行政にも議会にも期待しています。

南風原小・翔南小の議場見学



町の予算が200億円もあることにびっくりした。

議員の席に座ってわくわくして嬉しかった。

男子トイレをきれいにしてほしい。

体育館にクーラーをつけてほしい。

本会議で提案をして、小さな部屋で話しあって、また本会議をし、多数決で決めると知りました。

南風原小学校が5月7日、翔南小学校が5月20日に、両校の6年生が議場を訪れ、議員の案内のもと議場や会議室の見学を行いました。

議場では、議員席や町長の席などに実際に座ったり、議員に質問をするなど、とても好評でした。



石垣大志議員

決議・意見書・陳情の結果

在沖米海兵隊員による性的暴行事件や、西田昌司参議院議員のひめゆりの塔をめぐる発言を受け、議員発議による抗議決議及び意見書が提出され、全会一致で可決されました。
その他、意見書・陳情の結果は以下の通りです。

決議・意見書
全文はこちらから



意見書第3号	在沖米海兵隊員による性的暴行事件等に関する意見書 提出先：内閣総理大臣 他	可決
決議第3号	在沖米海兵隊員による性的暴行事件等に関する抗議決議 提出先：駐日米国大使 他	可決
決議第4号	西田昌司参議院議員による沖縄戦の実相を歪め、否定する発言 に対する抗議決議 提出先：西田昌司参議院議員、自由民主党総裁	可決
陳情第8号	「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める 陳情	採択
意見書第4・5号	「30人以下学級の早期・完全実現」のための意見書 提出先：内閣総理大臣、沖縄県知事 他	可決
陳情第9号	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための 意見書採択を求める陳情	採択
意見書第6号	「義務教育費国庫負担拡充」及び教育条件整備のための意見書 提出先：内閣総理大臣 他	可決
陳情第4号	訪問介護報酬引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を 早急に行うことを国に求める意見提出の陳情	継続審査
陳情第6号	高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回をもとめる陳情書	継続審査
陳情第7号	南風原町 mobi に関する陳情書	継続審査

継続審査・・・会期内で結論が出せないため、次回議会でも引き続き審査を行う

第2回臨時会 6月26日

体育協会関連補正 977万円

新聞等でも報道がありましたが、南風原町が補助金を助成している団体である南風原町体育協会の事務局職員の経費の私的流用が発覚しました。

今回の不祥事に伴い、町体育協会の事業運営及び、島尻郡体育協会負担金の支払いが困難になり、町体育協会の事業の中断を避けるために補正予算が計上されました。

今後は現金の取り扱いを再度見直し、抜本的な改善に向けて取り組みを行う。
また、全容が明らかになり次第、周知・説明を行うとのことでした。

議会中継は
こちらから→



第2回 定例会

6月10日から20日までの11日間の会期日程で開催されました。
提出された議案は審議の結果、全て原案のとおり可決されました。
今回の議会で可決された予算や条例、決議等をご紹介します。

補正予算で行う事業

学童クラブの新設等 事業費 2520万円

学童クラブの待機児童は、78名です。
今回の予算で、津嘉山小校区で
1つ新設、1つ移転予定です。
次年度は、既存保育所の受け入
れ等により待機児童の解消を見
込んでいると説明がありました。



物価高騰への支援 事業費 2億425万円

定額減税補足給付金
に係る不足額給付金及
び事務費で、令和6年度
の給付において、本来給
付すべき額を給付する
事業です。



詳しくは
こちらから



戦後80年 平和劇公演 事業費 35万円

戦後80年に伴い、南風原町の平和の日
10月12日に向けて平和劇を上演します。
南風原町出身者が当
時の経験を基に作成さ
れた劇を上演する予定
です。



マイナンバーカード交付事務 事業費 258万円

令和7年5月31日時点の、マイナンバー
カード交付枚数率は、75%で交付枚数は
30851枚です。会計
年度任用職員の配置
による人件費の増額
です。



ハワイ移民125周年祝賀会 事業費 131万円

ハワイ移民125周年
祝賀会等へ町長・議長
が参加します。



セグロウリミバエ対策 事業費 154万円

セグロウリミバエ防除に
対する会計年度任用職員の
配置などを行います。



条例の改正で何が変わるの？

出張の際の宿泊費の上限の改正

◇南風原町職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例

国家公務員等の旅費に関する法律の改正を踏まえ、町における旅費
制度の全面的な見直しを行うまでの間、宿泊料金の高騰により特別職
や議員、職員等の職務遂行に支障が生じないように、特例的な措置とし
て宿泊料の上限を引き上げる改正です。





赤嶺 奈津江 議員

給食業務委託後 どう変わったか

答 急な休みが出た場合でも対応可能



問 国際交流事業を今後も継続していくために、子どもたちだけでなく役場職員や商工会関係、民間交流を深めることが必要と考える。是非定期的に訪問し交流することが大事だと思うがどうか。

教育長 訪問先で受入れを担う方々及び現地民間関係者との定期的な交流も大切である。

国際交流事業 継続のために

問 委託先からの報告等はどうなっているか。

教育総務課長 月次報告並びに毎日の報告で情報共有等をしている。

問 学校給食業務委託がスタートした。業務委託前・後の状況はどう変化したか。

教育長 調理人等の急な休みが出た場合でも、業務委託後は柔軟な配置ができた安定的な調理体制が確保されている。

副町長 昨年末に南部土木事務所に状況を報告、応急措置が講じられている。住宅地の地盤沈下については、町、南



河川工事の影響と思われる地盤沈下

問 県管理河川・二級河川である国場川で一部管理道路のひび割れや隣接する住宅で地盤沈下が見られる。町の対応を問う。

県管理河川について

問 国際交流以外で定期的に交流ができるようなシステムをつくってほしいがどうか。

企画財政課長 既存事業での取り組みや民間関係団体との連携など、町全体として継続的な国際交流が推進できるように進めていきたい。

一こんな質問もしました
・保育士・加配保育士採用状況について

問 県の対応と今後の対策はどのようなになっているか。

副町長 河川管理用道路のひび割れについては、7月をめぐって調査設計業務を発注し、原因の調査、対策について検討する。宅地の地盤沈下については、工事の影響がない範囲の建物において、今年度工事損失補償調査を実施すると聞いている。



河川工事の影響と思われる地盤沈下

部土木事務所、地域住民3者で現場立ち会いを行い、早期対策を要請している。

《次のページから

一般質問

行政に考えを聞く
政策提言

【一般質問とは】

議員が、町行政の執行状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行部に直接質問することです。

QRコードから各議員の議会中継が視聴できます。一般質問記事は質問議員が会議録から抜粋し、広報委員会によって編集されています。



給食業務委託後 どう変わったか

- ・国際交流事業継続のために
- ・県管理河川について問う

P9



津嘉山土地区画 事業盛土を問う

- ・津嘉山幼稚園法面の草木の撤去を

P11



ウルトラマン 資料館の建設を

- ・町道113号線の早期開通を
- ・照屋地区区画整理事業を問う

P13



ユマニチュードの 普及・促進を

- ・町民サービスの向上目指せ
- ・福祉避難所の充実を

P15



物価高騰対策を問う

- ・こども誰でも通園制度について問う

P17



継後継者育成事業の 拡充を問う

P19



兼本ハイツ 建設補助方針を問う

- ・不登校児童を問う
- ・部活動指導員を問う
- ・町道16号道幅拡張計画の進捗は

P21



放デイの利用見直し 課題対応を

- ・公園を社会課題解決の場に
- ・eラーニングで職員のニーズに応えよ

P23

**体育館用地が買えず
実現性が揺らぐのでは**

・財政の状況を見える形で示せ

P10 照屋 仁士

**安全のため
公共施設の照度確保を**

・空き家対策計画の策定と実態調査を早く

P12 岡崎 晋

**老朽化施設の
今後の方針を明確に**

P14 大城 重太

**琉球組組50周年
限定組ウェアの販売を**

・防犯灯の予算拡充と修繕、新規設置を
・クーリングシェルダーの本町の現状は
・セグロウミバエ100%防除を

P16 大城 勇太

**青少年の
非行防止施策を問う**

P18 石垣 大志

**小中学生の通学時の
課題解決策は**

P20 大宜見 洋文

**学力向上の
取り組みを問う**

・スポーツ少年団、指導者の研修は

P22 伊佐 園恵

体育館用地が買えず 実現性が揺らぐのでは

答 見直す考えはない



問 令和6年度体育館関連予算4・9億円に、私は修正案を出し反対した。どの部分が執行され、何がどんな要因でできていないか。

都市整備課長 執行した業務は不動産鑑定及び物件調査である。用地購入は町が提示した価格に地権者の同意を得られず、令和7年度に繰り越した。アドバイザリー業務は、用地未購入のため執行できていない。建設スケジュールに影響が生じる。

問 公共の用地を確保する時、一度決めた価格はなかなか動かない。私は、昨年度の当初予算でまだ早いと反対し

た。総事業費も補助額も採算性も分からない。そういう状況で理解が得られるかという視点も質疑した。試算がない中で、結果的にこういう結果を生んでしまったのではないかと。

都市整備課長 事業について理解を得ていたが、その時点では価格は提示していなかった。価格の折り合いがつかないのが要因だと考える。

問 体育館用地が買えず、その遅れによって事業の実現性自体が大きく揺らぐ、例えばその必要性や有用性、採算性を担保した上で、適正な規模の予算であれば町民の理解は



照屋 仁士 議員

得られるかもしれない。53億円は確定ではないと町長から見直す考えはないか。



施設計画案(モデルプラン)

町長 見直す考えはないが、規模、事業費などは決まっていない。

財政の状況を見える形で示せ

問 昨年に続き今年度も財政調整基金8億円近くが取り崩された。今後の財政運営が心配されるがどうか。

企画財政課長 やむを得ない事情で取り崩すこととなった。

問 行政として投資的な経費に関する効果の測定、経済効果、数値目標が足りないのではないかと。取り崩しをしてきた今だからこそ、しっかりと財政の状況を数値目標を含めて測定効果について見える形で示せ。

企画財政課長 可能な限り分かりやすく示せるよう工夫したい。

津嘉山土地区画 事業盛土を問う

答 補償交渉を鋭意に進め、造成工事を行う



大城 雅史 議員

問 津嘉山サンエー近くに盛土がある。近隣住民より段差を直してほしいとの依頼があり今後の計画を問う。

副町長 当該箇所については、補償交渉が難航している状況である。補償交渉を鋭意に進め、完了後は早期に造成工事を行う。



段差のある盛土

問 補償交渉とあるが、早めにはできないか。また、あとは何がネックになっているか問う。

区画下水道課長 補償交渉の難航している状況だが、地権者等の身内の相続等が主な要因だと思われる。今年度、再度地権者関係、権利者等に連絡を取り状況の確認をしたが、進展していない。現状の法面か

問 現在各盛土がある中で、高低差があり、ひびが入っている。その辺の対策に関してはどういう状況で行っているか問う。

区画下水道課長 昨年度、この盛土の草木等の伐採を行い、盛土の状況確認を行い目視ではあるが、特に盛土の変異等はなかった。今年度も再度盛土等に異常がないか、伐採等を行って確認をしていく。

津嘉山幼稚園法面の 草木の撤去を

問 津嘉山幼稚園横の法面の草木が道路にはみ出している。津嘉山自治会において、伐採を検討したが高所の為出来なかった。伐採について調整させてほしいがどうか。

教育課長 津嘉山幼稚園の法面



津嘉山幼稚園法面の草木

の部分については、関係部署と早急に対応する。

問 向かい側の住民より、草木の繁茂があると、その影響で草も生えているのではないかとという声もある。伐採については大体いつごろになるか、分かれば教えていただきたい。

教育総務課長 現在草木の量までは高さがあり、倒木のおそれもあるのではということ、どの程度まで作業ができるか、今後作業内容と予算額等を業者と確認し、予算要求等を検討していきたいと考える。

一こんな質問もしました
・津嘉山小学校グラウンド周辺草木について伺う



岡崎 晋 議員

安全のため 公共施設の照度確保を

答 調査して対応する



問 中央公民館とちむぐくる館の玄関前の照度は私の照度計では0ルクス。私はこれまでに公民館玄関周辺での二件の骨折事故を確認している。利用者の安全のために照度を上げて欲しいがどうか。



中央公民館前の通路と車止め。夜間は暗く安全でない。

民生部長 今後、ちむぐくる館の玄関前は利用者がいる時は照明を点灯する。

問 町長が唱える安全安心なまちづくりは、災害対応だけでなく、普段の生活環境や教育現場でも置き去りにされてはならない。体育館や運動場等、学校など公共施設内外の照度が基準に達しているか、調査し対処して欲しいがどうか。

町長 各施設は設計基準等の照度を確保しており、機器の劣化や破損には適宜対応していく。

空き家対策計画の策定と実態調査を早く

問 新川区には草木が繁茂している空き家が1戸、明らかに住人不在が6戸、不在らしきが2戸あり、町内では似た様な状況にあるのではないかと。早めの実態調査と空き家対策計画を策定して欲しいが



草木繁る空き家

どうか。

町長 現在、崩壊の危険などの特定空き家はない。これまで本町では深刻化しておらず、計画策定に至っていない。

問 国と県は市町村に計画策定を促している。隣家に影響を及ぼす家屋はあり、策定しないと必要な手続きが進められない。

住宅需要の高い本町ではマツチングなどで空き家を活用できるよう、早めに計画を策定してもらいたい。

町長 地域の空き家状況や社会動向を確認し、必要に応じ対応する。

ウルトラマン 資料館の建設を



答 財政状況から建設は厳しい

問 ウルトラマン資料館建設の基本構想まで行ったが、実現しなかった経緯がある。資料館建設の要望があり、複合施設として建設できないか問う。

副町長 町の財政状況から建設は難しい。

町長 ウルトラマンに関しては、南風原町の貴重な財産なので、観光の発展、町政発展に役立てる事を考えて、将来的にウルトラマンの里を宣言して行きたいと思っている。

問 かすり会館、商工会館は耐震基準に適用しているか問う。

副町長 耐震基準は昭和56年

6月に新耐震基準に改正し、かすり会館は昭和45年建設で旧耐震基準である。

産業振興課長 耐震診断を実施する義務対象施設ではないため実施していない。平成25年に一括交付金を活用して改修工事、修繕が必要な箇所に給排水工事、花ブロック工事は補修している。建物の状況を見ながら調査、確認を実施していく。

問 旧社協の敷地の有効活用の計画を問う。

副町長 跡地の有効活用に向けて、施設整備検討委員会において協議する。



知念 富信 議員



開通していない町道113号線

町道113号線の早期開通を

問 町道113号線の袋小路

照屋地区区画整理事業を問う

問 組合設立は進んでいるか。開発事業者の着手時期はどうなっているか問う。

副町長 沖縄県と都市計画変更に向けて協議を進めていて、令和8年7月に組合設立、事業認可を目指している。事業着手時期は地権者との交渉等で未定である。

問 土地所有者の開発承認に合意は得られているか。

副町長 土地区画整理事業に向けた仮同意は、9割程度の同意がある。

老朽化施設の 今後の方針を明確に

答 総合管理計画の目的において進める



正な維持管理に取り組んでいきたい。



南風原町公共施設等総合管理計画

問 令和4年に公共施設等総合管理計画が改定されたが、各公共施設の個別の施設計画が遅れている。総合管理計画は全体的な方針とか目標を示すものであり、個別施設計画がないと具体的な実施方法や優先順位などが不明確になって、計画の実行性が低下する可能性がある。また更新に関する財政計画がないと予算の適切な配分が難しくなるので、個別施設計画を早めに策定してほしいがどうか。

総務部長 総合管理計画では施設ごとの管理に関する基本的な方針が必要となるので、そちらを定めて機能の充実や適

問 公共施設マネジメントの観点からも、老朽化が懸念される施設の今後の方針を明確にしてほしい。町の財源になるような運用を検討し、今後10年、20年先、中長期的な観点をもって建て替え、改修だけではなく、利用率や地域住

民のニーズを考えて統廃合も検討に入れてほしいがどうか。

企画財政課長 総合管理計画の目的において、長期的な視点から計画的、効率的に公共施設等の整備や維持管理、そして長寿命化、統廃合等を進めることにより将来負担の軽減を図り、限られた財源の中で充実したサービスを提供したい。

問 町民体育館を建設する場合、体育館だけではなく観光協会や商工会を入れて、現在使っている共同福祉施設は町民のニーズに応えた別の施設



大城 重太 議員

に建て替えたり、民間の建物に公共を入れたり、自治会の公民館を複合施設にするなど、いろんな統廃合の発想ができる。南風原町の土地も限られており、とても有効だと思いがどうか。



旧社会福祉協議会の建物

総務部長 建物、土地等の有効活用はそのとおりだと考えている。補助事業のメニュー等研究して今後計画していきたい。

- 一こんな質問もしました
- ・中長期的な財政計画を問う

福祉避難所の充実を

問 福祉避難所とはどのようなことか。

総務課長 指定避難所で生活が困難な高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児など特別な配慮を要する方を移動させる場所である。

問 本町に福祉避難所の数は幾つで内訳はどうなっているか。

総務課長 福祉避難所は17あり内訳は、医療施設が1つ保育施設が15あり老健施設が1つとなっている。

問 保育施設等に備蓄品は置かれていないか、また要支援者名簿の状況を問う。

副町長 備蓄品は、保育施設には置いてないが計画的な整備について検討する。名簿は作成しているが、対象者に対する対応について十分な議論が必要と認識している。

ユマニチュードの 普及・促進を

答 認知症ケアの技法を発信していく



浦崎 みゆき 議員

問 本町の認知症の有病率はどうか。

副町長 後期高齢者の17・3%である。有病率は県より高い。しかし本町はその後の取り組みに力を入れており、介護保険につながる認知症に関する率は県より低い。

問 認知症の方の尊厳を守り、その人らしさを大切にしていこうというユマニチュードのやり方を認知症ケアの対策として普及・促進し講演会等で本町に取り入れることが出来るか。

保健福祉課長 ユマニチュード技法は、現在の認知症に関する普及啓発と共通する部分があり、講演会等の情報を発信していく。

町民サービスの
向上目指せ

問 「おくやみコーナー」は遺族の方の手続が1か所ですませられるコーナーである。

本町の現状はどうか。

住民環境課長 その方に必要な手続きする流れとなり、担当課に案内している。



町で配布している
おくやみハンドブック

問 全国の「おくやみコーナー」導入件数を問う。

副町長 約34%の自治体が導入している。

問 今後の高齢社会等に向かつて、状況は変わっていく。町民の負担を少しでも軽くすることが町民サービスの一つとして、是非実現できるように頑張っていたきたいがどうか。

住民環境課長 令和7年10月をめどに、書かない窓口を試験的に実施することを予定しており、「おくやみコーナー」の要素も含め幅広く各種手続の効率化に努めたい。



大城 勇太 議員

琉球絣組合50周年 限定絣ウェアの販売を

答 何らかのアクションを
起こすべき



問 那覇市制施行100周年で、「首里織」と「琉球びんがた」のコラボでかりゆしウェアを販売した。本町も琉球絣組合50周年限定絣ウェアの販売をしてはどうか。



市制施行100周年記念かりゆし
(かすり大使 高嶺結知郎)

問 記念誌やパンフレットなどの発行。製品の歴史、名前、紹介などQRコードのタグづけをしてほしいがどうか。

産業振興課長 30年振りに未来につながる教本となるような記念誌製作の計画がある。絣、花織のQR紹介は興味深い。組合のほうに伝える。

防犯灯の予算拡充と 修繕、新規設置を

問 修繕、新規設置の要請が区長会から多くの声がある。聞き取り調査をして予算を拡充し、対応できないか。

都市整備課長 区長や自治会長に聞き取りをし、要望がある際は補正を検討していく。

クーリングシエルター の本町の現状は

問 熱中症特別警戒アラートが発表された場合の対応と高齢者への周知方法を問う。

副町長 例のない危険な暑さが予測され、健康に重大な被害がある場合、環境省から発表される。テレビ等で警戒アラート情報が発信される為、高齢者も情報を受ける事が可能だが、防災無線、町HP、LINEでも周知する。

問 改正気候変動適応法により熱中症対策実行計画の策

定、熱中症特別警戒情報の発表、指定暑熱避難施設（クーリングシエルター）の指定などの取り組みが始まった。東京で熱中症対策の一環として、ファミリーマートを開放している。本町もファミリーマートと連携してクーリングシエルターができないか。

国保年金課長 クーリングシエルターの必要性は認識している。役場庁舎、公共施設内への設置を関係部署と検討していく。

セグロウリミバエ 100%防除を

問 セグロウリミバエ一斉100%防除に向けた仕組みづくりをJAと連携してできないか。

産業振興課長 農林水産大臣の緊急防除協力指示書に基づいて実施している。基本的に国、県を通して指示される業務をする事が重要だ。

物価高騰対策を問う

答 最優先に実施すべき事項である



1853万円に対し、事業費1億5951万円を計上している。



當眞 嗣春 議員

問 今年度の重点支援交付金について、国に提出した「実施計画」で要求した金額と国が示した交付限度額について問う。



高騰しているお米

副町長 物価高騰対応重点支援交付金実施計画書で推奨事業メニュー分交付限度額1億

問 重点支援交付金の本町の活用状況について問う。

企画財政課長 5つの事業を計上しており、

- ① 物価高騰生活者支援事業、1人当たり2000円の商品券を配布する事業、事業費が1億1579万円。
- ② 学校給食費支援事業、小学校、幼稚園等への給食費の支援、事業費が2817万円。
- ③ 保育所等給食費支援事業、事業費が794万円。
- ④ 粗飼料価格高騰対策臨時支援事業、乳用牛、畜産農家に対する粗飼料の支援、事業費

が450万円。

⑤ 農業資材等臨時支援事業、農家に対する肥料等の購入に係る支援、事業費が310万円である。

問 内閣府から交付金の追加について問う。

副町長 令和7年度予備費分として交付限度額2003万円が南風原町に追加され、実施計画書の提出については10月末を予定している。

問 インボイス発行事業者になつた個人事業者数を問う。

副町長 個人事業者に関して

登録番号のみの公表であることから、把握することができない。

こども誰でも通園制度について問う

問 こども誰でも通園制度の概要について問う。

副町長 子どもの良質な成育環境を整備するために、就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育所等を利用できる新たな通園制度となっている。

問 通園制度で自治体はどこまで関与できるのかを問う。

副町長 令和8年度からは給付事業として全ての市町村で実施されることになるので、本町の条例等に基づき関与することになる。

一こんな質問もしました
・学童保育について

青少年の 非行防止施策を問う

答 町を挙げて非行防止啓発活動に
努めていく



問 警察庁によると、全国的に高校生年代を中心とした深夜徘徊や飲酒等の少年の補導件数がここ数年でコロナ禍以降再び増加に転じ、少年の非行傾向や相談体制、各関係機関との連携が重要であると示されている。本年5月、6月中に南風原中学校校区において実施した夜間パトロールでは、高校生年代の青少年による非行実態が確認されており、本町の青少年を取り巻く環境に変化が出てきていると感じている。本町青少年の深夜徘徊や非行実態をどのように把握しているか。



夜間パトロールで子どもたちへの声かけ

生涯学習文化課長 本町青少年の深夜徘徊などの非行実態については、これまで把握できていなかったが、与那原署より資料提供を受けている。

問 本町の未成年の補導の状況はどうなっているか。

生涯学習文化課長 与那原署によると、(令和5年14歳〜19歳の補導状況調べ) 行為別で飲酒19件、喫煙38件、暴走行為3件、深夜徘徊62件、南風原町合計122件となっている。近隣市町村と比較すると南風原町122件、南城市100件、八重瀬町83件である。



石垣 大志 議員

問 今後も補導件数等、非行実態をしっかりと把握し非行防止対策に組み込んでいただきたいが、教育部局として今後どう取り組むか。

生涯学習文化課長 非行防止の観点では、薬物乱用や深夜徘徊など危険性が非常に高いということ、周知をすることが大事だと考えている。周知については、例えば学校で人権教育や道徳教育、それからSNSやインターネットリテラシー教育なども実際授業の中で行われている。学校や、地域などと連携して、危険性の周知、非行防止について連携して努めていきたい。

一こんな質問もしました
・ウガンヌ前公園管理について

収入面での助成金を出せるような育成事業の拡充を検討して頂きたいがどうか。



絣織りの様子

産業振興課長 本町もこれまで組合に対する補助金、後継者育成事業に対する補助金を、長い間継続している。今言ったような新たな部分に関する補助を考えると、まずは組合でこれまでの補助金をどう使っていくか考える必要がある。行政としては、国あるいは県などでそういった該当する補助金がないか検討していく事も必要である。また工房も事業所として人材を確保する経営力も重要であり、それが強い産地の形成につながっていくと考える。

絣後継者育成事業の 拡充を問う

答 これまでどおり支援していく



金城 憲治 議員



絣織りの様子

問 本町が補助する絣後継者育成事業は、これまでどのような育成事業を行ってきたか。

副町長 琉球絣後継者育成事業では織り子の養成を、南風原花織後継者育成事業では技術者の養成を行ってきた。

問 絣後継者育成事業の成果はどうか。

副町長 令和2年度から令和6年度までに研修を修了した方は25名、うち令和7年度6月時点で、工房で従事している方は21名になる。

問 残りの4名については、例えば、修了したけれども工房に就職しなかったとか、もしくは工房に就職はしたけれども、残念ながら事情があつて退職された方々になるのか。

産業振興課長 こちらの4名の方については、一度は工房のほうに配属されている。そういった中で継続できなかった理由としては、家庭の事情であったり、賃金の低さ、そういったことではないかと組合のほうから確認している。

問 後継者育成事業の拡充というところだが、ベテランの織り子さんと修了したての織り子さんとは、織るスピード、またその技術力もだいぶ違うと考える。これで生計を立てていききたい方々にとっては生活も厳しく仕事として続けていくのは厳しいのではないか。絣を今後、向上普及させるためにも、修了生に工房に入って1年程度は、給与、



大宜見 洋文 議員

小中学生の通学時の課題解決策は

答 てくてく登校を推進していく

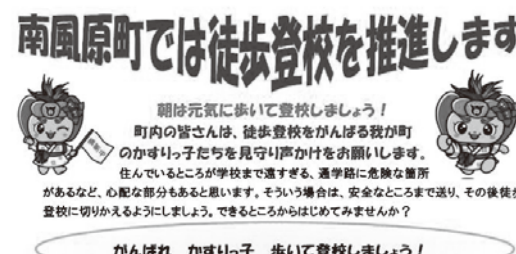


問 集団登校を復活させる時期と考えるが、どうか。
教育長 集団登校については、現在検討していない。

問 集団登校復活をテーマにPTA・老人会、女性会、青年会の皆さんを一堂に会して熟議の場が持てないか。
教育長 集団登校復活をテーマとした会議は、現在検討していない。

問 議会報告会の意見交換の際に、朝の登校時の公民館前の自家用車の混雑に対して、自治会長、JAの管理職の方々から敷地内での事故の不安もあり、対策はないかという切実な訴えがあった。学校の所在地の地域住民からも苦情が多い。学校側も自家用車で登校に対応に苦労している。一方で保護者の皆さんも子ども1人で歩かせるのはとても危険、ストレスがたまる、全てが悪循環に感じる。議会報告会の意見交換も議論が進

んでいた。昔は集団登校という、子どもたちと一緒に登校させる文化、そういう時期があった。議論をする場が必要ではないか。



徒歩登校の推進

教育長 各学校で、通学時の車の送迎の問題があることは、認識している。対策として、車で送迎して降りる場所、どこかに指定するとかの検討の余地はあるが、根本的な解決は、徒歩登校と考える。教育委員会としては、各学校を通し保護者に車送迎の路上駐車に対する渋滞問題が出てい

問 集団登校で、子どもたちにも万歩計を持たせて、どれだけ歩けたよという事で何かもらえるとか、インセンティブが与えられるような、ゲーム感覚で登校できるような、歩くのが楽しくなるような仕組みづくり、ほかにいろんな意見を持っている人たちがいる。熟議する、議論をする場が必要ではないかなと改めて思うが、どうか。
教育長 必要があれば学校運営協議会で、議論されると考える。

- 一こんな質問もしました
- 待機児童数は
 - 公共施設利用の際の減免要綱について
 - 「生涯活躍のまち」とは
 - 本町の防災対策について
 - 運用システム変更したmobiについて

兼本ハイツ

建設補助方針を問う

答 補助の方針に変更はない



西銘 多紀子 議員

不登校児童を問う

問 昨年度の不登校の人数及び全体児童に占める割合を問う。
教育長 町立小中学校における30日以上欠席した児童生徒の人数及び割合は、小学校全体で105名、31%、中学校全体で115名、7.7%となっている。

問 令和4年定例会で、資材や建設コストの高騰にかかわらず、コミュニティ助成事業の費用を差し引いた残額に対し、町が5分の3、上限5000万円の補助を行うと答弁を受けた。兼本ハイツ建設補助方針に変更はないか問う。
副町長 補助の方針に変更はない。

問 実際の建築費が当初計画を上回る見込みだが、町として追加支援や補填を検討するか問う。
副町長 当事案は、当初設計の変更ではなく、建築資材や人件費高騰によると考える、補助額の変更が可能か検討する。

問 公共施設の柔軟な利用基準の見直しについて問う。
教育長 公共施設の利用基準については、各施設の利用運営規則などにより定められている。社会の変化や状況に照らし合わせ必要に応じて検討する。

部活動指導員を問う

問 部活動指導員の人数と推移を問う。
教育長 令和3年度4名、令和4年度4名、令和5年度32名、令和6年度14名、今年度は16名が配置されている。

問 指導員の雇用形態と勤務条件を問う。
教育長 雇用形態は規則に定められており、会計年度任用職員として雇用し、勤務時間は週5日以内かつ月40時間以内である。

町道16号道幅拡張計画の進捗は

問 計画の現状について問う。
副町長 令和6年度に実施設計を完了し、今年度から次年度で工事を行う計画である。



町道16号線

問 事業の優先順位と進め方を問う。
副町長 道路新設・改良事業の目的は、交通の円滑化、渋滞対策、歩行者の安全確保である、総合的に考慮して優先順位を定めている。

問 情報開示はどう行っているのか。
副町長 ハイさいよーさん等を町ホームページに公開し情報提供を行っている。

学力向上の 取り組みを問う



答 「読み解く力」を推進している

問 学力向上の取り組みはどのようなものがあるか。

教育長 「生きる力」の基盤となる「読み解く力」と時代の変化に対応した資質・能力の育成を推進している。

問 南風原町の学力課題は何か。

教育長 算数、数学、英語に課題があり、学びの土台となる「読み解く力」が課題である。

問 教育基本法第1章第1条にあるように、教育の目的とは人格の完成にある。学校教育は知識のみでなく、体や心

の健康を害してはだめ、人とのつながりの中で生きていくことの徳育も重要とある。教育長の学力向上のビジョンを問う。

教育長 学力向上の部分では、読み解く力を真ん中に据え、生きる力を支える。中学校を卒業するまでに、読解できる力を育てていく。それが自立した学習者を育てることになり、全国平均にも届くような学力がつく。生きる力を育むことは、子どもたちの幸せを担うものである。これがビジョンである。

問 高校数学で、生徒が九九



伊佐 園恵 議員

を覚えていない、カッコつきの足し算や引き算ができていないことが少なくないと聞いた。例えば、九九ができなければ中学で因数分解ができない。つまりある生徒たちのサポートは不可欠と考える。基礎基本の重要性を、先

順位	外傷・障害名	発生頻度 (%)
1位	野球肘	13.3%
2位	オスグッド病	6.2%
3位	肩痛	5.6%

小学生における発生頻度が高いスポーツ外傷・障害(スポーツ庁)

生方へ周知してほしいがどうか。
統括指導主事 小中学校長会でも周知していきたい。

スポーツ少年団、指導者の研修は

問 スポーツ庁の子どもの体力向上課題対策プロジェクトより、活動量の目安は、1日2〜3時間程度、1週間に2〜3日が無理のない活動とされている。子どもにとって、身体的・精神的に過度な負担がなく、意欲を持って参加できる活動量として推奨されている。スポーツ少年団は、指導者研修を行っているか。
教育長 年2回日本スポーツ協会公認の研修受講を推進している。

- 一こんな質問もしました
- 学校教育を問う
- こども計画を問う

放デイ^(※)の利用見直し 課題対応を

答 負担の小さい
スムーズな移行を考える

※放デイ … 放課後等デイサービスの略称



玉城 陽平 議員

問 障がい児の通所サービスの支給基準見直しの内容と背景を問う。

保健福祉課長 R7年4月より、月利用日数が一律23日だったのが、障がいの程度に応じて15日と23日の2段階になる。障がい児のサービスから学童への移行が目的で、サービスの利用件数、給付費が年々増加している背景がある。

問 見直しの影響を受ける人数の見込みはどうか。

民生部長 サービス利用者全体で275名のうち、支給上限日数が変わる方は231名で、そのうちサービスの支給量不足の相談が想定されるのは95名程度と見込んでいる。

問 学童と放デイの併用が想定される。課題として、利用者負担の増大、両施設での支援の一貫性の担保、学童側の受け入れ体制の強化が挙げられる。どう対応するか。

民生部長 保護者がスムーズな移行を実感でき、負担感を小さくする取り組みが必要だ。財政負担も考えつつ、様々な事業を取り入れる。

問 移行支援の推進と横断的な支援体制構築のため、自立支援協議会の専門部会として、子ども部会を前倒しで設置すべきではないか。

民生部長 関係機関から意見を聴取し、設置に向けて前向きに取り組む。



協議会で地域の課題を検討する

公園を課題解決の場に

問 孤独・孤立対策として公園コミュニティは有効で、社

会課題解決に貢献する場として機能する。公園協議会、ボランティアなど、住民参加の仕組みを求めるがどうか。
都市整備課長 公園を通じた課題解決、より良いまちづくりにつながる。

eラーニングで
職員のニーズに応えよ

問 那覇市に学び、職員が必要な時に、必要な学びを得られるeラーニングを充実させ、人材育成の組織的基盤を強化してほしいが、どうか。



eラーニングで業務の繁忙を避けて学ぶ

総務部長 県内事例を調査研究し、導入に向けて前向きに検討していく。